

高岡テクノバーム別館(仮称) 基本設計概要 富山県



整備の基本的な方針

- 北陸新幹線の新高岡駅に近接する立地を生かし、県西部の**産業・地域の活性化に資する拠点**を整備
- 既設の高岡テクノドームとの一体的な利用を図り、**産業展示やコンベンションなどの利便性を重視**
(既存施設との回遊性のある動線を意識)
- 意匠面や構造の簡素化等の工夫により、**建設コストを抑える**

設計のコンセプト

1. 多機能型の展示空間

産業展示イベントやコンベンションなど幅広いニーズに対応する

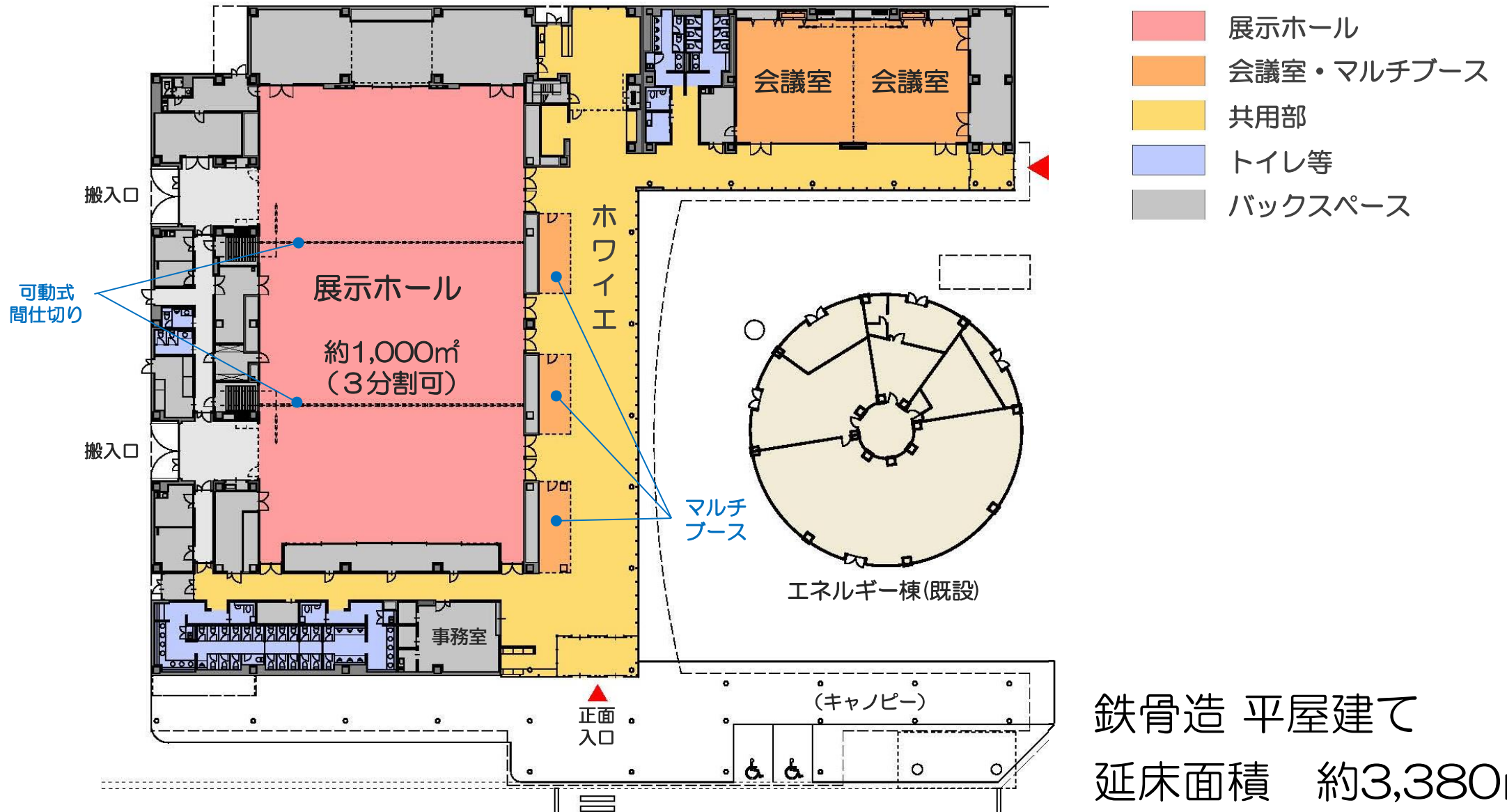
2. にぎわい交流の拠点

高岡テクノドーム本館や周辺施設との関係により人々が集まる場をつくる

3. ものづくりのショーケース

高岡市および県西部地域の地場産材を施設のデザインに活かす

配置図



鉄骨造 平屋建て
延床面積 約3,380m²

展示ホール内観



ホワイトエ内観



今後の予定

- 実施設計 ----- 令和8年度
- 運営手法の検討 ---- 令和8年度に結論を得る
- 本体工事着手 ----- 令和9年度前半
- 設置管理条例制定 -- 令和9年度中
/運営者の選定
- 完成/開館 ----- 令和10年度中の開館を目指す

担当所属：成長産業推進室（テクノドーム担当）